

要請番号 (JL01218A09)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-------|--------------|------|-------|-------|------|-----------------|
| フィリピン | I102 障害児・者支援 | | グループ型 | 交替2代目 | 2年 | ・2018/4 ・2019/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国家経済開発庁 ボランティア調整局

2) 配属機関名 (日本語)

レオン中央小学校 特別教育センター

3) 任地 (イロイロ州 レオン町) JICA事務所の所在地 (マニラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は児童数1400名の小学校内に設置されている障害のある児童を対象とした特別教育センター。小学校の年間予算は200万円。小学校全体の教員数は60名で、特別教育センターには7名の常勤教員が在籍している。特別教育センターには77名の児童生徒が在籍し、知的障害、視覚/重複障害、聴覚障害、自閉症の4つのクラスと16-29歳の移行支援クラスで構成されている。過去にオーストラリアの団体からセラピールームを供与され、自閉症児と聴覚障害児が学んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2017年度1次隊で派遣された初代青年海外協力隊(JV)は、知的障害がある児童(約30名)への作業学習支援を実施中。ドアマットなどの手工芸品やお菓子や軽食を作り、学内の食堂や町のイベントで販売をしている。また、教材教具の開発や授業づくりへの助言も行っている。配属先は2代目JVの活動として、移行支援クラスの生徒への作業学習の支援を求めている。

なお、同州には地方自治体、教育機関、NGOに複数のJVが障害児・者支援分野のグループ型派遣として派遣されており、彼らと協力しながら活動することも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚教師と共に以下の活動を行う。

- 知的障害のある生徒(10代後半から20代後半・14名程度)を対象に主に手工芸やお菓子作りなどの作業学習の指導を行う。
- グループ派遣で同州派遣中の障害児・者支援分野のJVと情報共有しながらセミナー等の企画・調整を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

コンピューター、机、いす

4) 配属先同僚及び活動対象者

学校長:40代 男性

カウンターパート:40代女性(経験年数16年)

その他教員:女性5名・男性2名(20-40代)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[学歴]：（短大卒） 備考：同僚とのバランス

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づく助言を要する

[参考情報]：

- ・特別支援学校教諭免許状の取得者が望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（25～35℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

JICA事務所からマニラ空港までは車で1時間

【類似職種】